



## 東地中海地域ニュース

### トルコ：パレスチナ工業団地建設計画に関する合意

(11月14日付現地報道)

1. 11月13日、トルコ商工会議所連盟(TOBB)の主催で第7回アンカラ・フォーラムが開催された。(注：同フォーラムは、トルコ・イスラエル・パレスチナ間での対パレスチナ民間経済支援を促進するためにトルコの主導で開始された会合)同フォーラムへは、ギウル大統領、ペレス・イスラエル大統領、アッバース PA 大統領が参加し、西岸南部タルクミエ地区に工業団地を建設する文書に署名した。同署名式には、ヒサルジクオール TOBB 会長、プロシュ・イスラエル製造業者協会会長、エズゲイル・パレスチナ商工会議所会頭が同席した。

### 2. 計画の概略

(1) 2005年に開始した本フォーラムでは、当初、ガザ地区にエレス工業団地を建設する計画であったが、西岸タルクミエ地区が治安面においてより適しているとの判断から、同地区での計画実施が決定された。本計画に関して今後、建設地の決定や治安措置等について詳細な協議が行われる予定。又、治安と物資の輸送に関し、イスラエル側とプロトコルを結ぶことで合意した。

(2) ヒサルジクオール TOBB 会長は、計画実施に当たり、本計画のために設立される「TOBB 和平推進企業」(TOBB - BIS) に対する計画実施・運営の権利付与、イスラエル政府による治安措置及び物資移送に関する便宜供与(インフラ提供等を含む)、本計画に関する広報、の三点について関係政府の協力を要請した。

(3) 工業団地の建設に当たり、今後、2,000万ドルの投資と約50社の中規模工場の参入が予定されている。工業団地の参入に当たっては、トルコの投資家が優遇され、エジプトやレバノンよりも投資条件が良い。又、外国企業がイスラエル向け製品の製造地として利用することも期待されている。

(4) 現在、パレスチナにおける失業率は40%に達しているが、本計画が実現すれば、約1万人の雇用が創出される。

### 3. 関係者の発言

(1) ギウル大統領：地域の繁栄のためには先ず安定が必要であり、安定のためには平和が必要である。パレスチナ・イスラエル問題は希望と失望の繰り返しであるが、トルコは両国の継続的和平の実現のために取り組んできた。

(2) ペレス大統領：経済の原動力には戦車よりも大きな力がある。本計画の署名は、イスラエル・パレスチナ両者に「ウィン・ウィン」関係をもたらす重要な一歩となる。

(3) アッバース PA 大統領：パレスチナ占領が終了し、和平がもたらされれば、イスラエルも中東における平和と安定の中に生存していくことができるであろう。

(4) ウィルソン駐トルコ米国大使：これは重要な一歩である。中東の平和と安定に対するトルコの貢献に感謝する。今回の進展は、アナポリス会議にも良い影響を与えるだろう。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799